平成28年度 学校経営計画及び学校評価【城星学園小学校】

1 めざす学校像

城星学園は、カトリックの精神に基づき、創立者聖ヨハネ・ボスコ（ドン・ボスコ）の教育理念である『道理』と『信仰』と『愛』に根ざした教育法によって、園児、児童、生徒の全人間教育に励み、神を敬い、人を愛し、自然を大切にする『良心的な人間、よき社会人』を育成することを使命としています。

「教育は心の問題であり、青少年を愛するだけでは足りません。
青少年が愛されていると感じられるように彼らと共に生きる」

2 中期的目標

- 1 アシステンツァを実践する
 - ① キリシト教精神に基づく教育活動の実践
 - ② 教職員対象のカトリック教育
 - ③ 祈りの習慣付け
 - ④ 保護者の啓発
- 2 「園児・児童・生徒の安全」管理を徹底する
 - ① 危機管理及び防災備蓄体制の確立
 - ② 実地訓練の充実
 - ③ 安全管理体制の公開及び発信
- 3 『「良心的な人間、よき社会人」を育成する教職員』を育成する
 - ① 社会人教育の実践
 - ② 社会貢献活動の展開
 - ③ 教育活動従事者としての意識と技術の向上
- 4 小学校ブランディングプロジェクトを推進する
 - ① ドン・ボスコの心による教育の実践
 - ② 幼・小ブランディングプロジェクトの推進
- 5 自然に挨拶が交わせる学園にする
 - ① 教職員間のコミュニケーション円滑化
 - ② 園児・児童・生徒、保護者への挨拶の励行
 - ③ お客様、業者への挨拶の励行

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

ア. 自己評価アンケート結果と分析	イ. 学校関係者評価委員会からの意見
<p><評価が相対的に高かった項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ○建学の精神・教育理念に共感できる ○学校の行事が楽しい ○緊急時の連絡体制・情報伝達が適切 (すべて満足度93%以上) <p><評価が相対的に低かった項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域との連携を積極的に図っている ○幼小中高の連携が取れている ○進路指導の時期等が適切である 	<p>学校法人城星学園学校関係者評価委員会は理事会・後援会（保護者）・各学校種管理職・評議員（学識経験者）により構成されている。平成28年度学校評価に関する検討は平成29年7月6日（木）に行われた。</p> <p><意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ○アンケート全般について <ul style="list-style-type: none"> ・成果は十分表れているにもかかわらずアンケートの評点が低いものがみられる。学校の意図が保護者にうまく伝わっていないのではないか。 ○学習指導について <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領改訂に向け、IT・英語・プログラミング等の教育課程の準備が必要になる。本学園の強みを生かし、学校種間で連携して進めていただきたい。 ○子どもの成長について <ul style="list-style-type: none"> 勉強だけでなく、クラブ活動、聖歌隊、ウィンドアンサンブルなど様々な取り組みにより好奇心旺盛かつ幅広い見識を持った子供に育っている。 ○情報共有について <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有が円滑になされていない場面があるようだ。特に女性保護者と男性教員の間での伝達においては女性教員が橋渡しするなどの工夫があればよい。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 アシステンツアを実践する	アシステンツアの励行を強化する	ア) ミッションスクールとしての意義をより強く認識する イ) ミッションスクールとしての特性を具現化する ウ) 保護者への働きかけにより教育内容に対する理解を求める	設問「建学の精神および教育理念に沿った教育を行っている」のA・B評価が80%以上。 設問「建学の精神および教育理念に共感できた」のA・B評価が80%以上。 設問「建学の精神および教育理念の説明をわかりやすく行っている」のA・B評価が80%以上。	学校評価アンケート結果を評価指標とし、それを踏まえて自己評価を実施することとする。 ア) A・B評価 91.4%。教員の温度差も少なく、ミッションスクールとしての存在感を出そうと努力できた。(○) イ) A・B評価 94.0%。行事ごとに振り返りを行い、改善が進められた。(◎) ウ) A・B評価 92.2%。校長による保護者対象勉強会を実施し、教育方針への理解を促すことができた。(◎)
2 園児・児童・生徒の安全管理を徹底する	学齢に応じた安全教育を実施する	ア) 各学年にふさわしい安全教育を実施する イ) 施設設備面の安全管理を徹底する ウ) 避難訓練を徹底実施する	設問「生活指導により、基本的な生活習慣が身に付いている」のA・B評価が80%以上。 設問「学校の施設・設備は安全管理が行き届いている」のA・B評価が80%以上。 設問「保護者に対して緊急時の連絡体制を伝えている」のA・B評価が80%以上。	ア) A・B評価 75.7%。学年別での各種教室を実施することができた。ただし、登下校指導の強化は課題として残った。(△) イ) A・B評価 82.8%。安全点検の実施により、速やかに老朽箇所の修理・営繕の申請に努めることができた。(○) ウ) A・B評価 93.3%。避難訓練そのものについては年4回の実施とした。(○)
3 『良心的な人間、よき社会人』を育成する	教職員研修を実施する 児童に関する情報交換を実施する	ア) 「いじめ問題」に関する研修を実施する イ) 新任研修会を実施する ウ) 教員間において日常的に情報交換を行う	設問「いじめ防止について十分に取組んでいる」のA・B評価が80%以上。 設問「教員は、十分な指導力を有している」のA・B評価が80%以上。 設問「教員間での連携が十分に図られている」のA・B評価が80%以上。	ア) A・B評価 55.7%。弁護士を招いての研修を実施。いじめは許さないとの意識を持ち、教員が常にアンテナを張り巡らせていたつもりだが厳しい評価であった。さらなる徹底を図りたい。(×) イ) A・B評価 77.2%。予定していた研修は実施。管理職を含め多くの教員が積極的に関わったものの、さらなる指導力養成が必要である。(△) ウ) A・B評価 74.4%。報連相を徹底実践し、教員全員で共有するよう心がけた。またアンケート調査も学期毎に実施した。(△)

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
4 小学校ブランディングプロジェクトを推進する	城星小ブランド化プロジェクトを推進する	<p>ア) 教員全員が各学期1回の個人研修授業を実施し、さらなる授業力のアップを図る</p> <p>イ) 視野を広げ、より効果的な教材の発掘に努める</p> <p>ウ) 「ノートづくりは人づくり」を合言葉に、日々すべての教科に展開し、学習習慣の定着を図る</p> <p>エ) 学校行事が常にマンネリに陥らないよう、小さな変革を常に工夫し、実行する</p>	<p>設問「この学校の授業はわかりやすい」のA・B評価が80%以上。</p> <p>設問「学校の各種教材の活用について満足している」のA・B評価が80%以上。</p> <p>設問「家庭での学習を十分に行っている」のA・B評価が80%以上。</p> <p>設問「学校の行事が楽しい」のA・B評価が80%以上。</p>	<p>ア) A・B評価 80.1%。初任者に対する研究授業等を実施した。今後も授業力向上に向け組織的に活動したい。(○)</p> <p>イ) A・B評価 82.8%。各教員が教材活用への意識を高められたほか、教員どうしの連携も意識して活動できた。(○)</p> <p>ウ) A・B評価 80.2%。本校の特色のひとつである「書く」ことの取り組みは、志願者の志望理由の一番に挙げられるまでに浸透してきた。(○)</p> <p>エ) A・B評価 93.6%。行事ごとに振り返りを行い、改善が進められた。(◎)</p>
5 自然に挨拶が交わせる学園にする	挨拶を励行する	<p>ア) 教職員間で挨拶を励行する</p> <p>イ) 児童に対し挨拶・会釈の指導を行い励行を促す</p> <p>ウ) 保護者とのコミュニケーションを充実させる</p>	<p>設問「教職員は気持ちの良い挨拶を行っている」のA・B評価が80%以上。</p> <p>設問「礼儀、マナーが身に付いている」のA・B評価が80%以上。</p> <p>設問「学校は保護者に対して生活指導の方針の説明をわかりやすく行っている」のA・B評価が80%以上。</p>	<p>ア) A・B評価 88.8%。教職員間での挨拶は盛んに行われるようになった。(○)</p> <p>イ) A・B評価 87.5%。少しずつ良い傾向に向かっていると感じられるようになってきた。(○)</p> <p>ウ) A・B評価 72.4%。母親教室で啓発を行う予定であったが天候等のトラブルで一部実施できなかった。(△)</p>